

7. ごみ有料化について

3月定例議会でレジ袋削減に関する条例が可決されました。本市では地球高温暖化対策の一環から、精力的に環境対策事業に取り組んでいるところであります。

同定例議会で承認いただき、札幌市の家庭ごみ有料化の取組について視察してまいりました。北海道では道内の8割が家庭ごみ有料化を行っているとの事です。札幌市では平成17年度から諮問を行い、21年7月より実に4年がかりで制度移行し、9ヶ月経過した様子を伺ってきました。

新たなゴミだしのルール化によって、廃棄ごみは前年対比なんと36%減り、その中でも燃えるごみは70%近く減量できたそうです。一方、資源ごみは2~3割増えましたが、分別が徹底され、別のものが混じることが少なくなりました。結果、資源ごみも含めたごみ全体の収量は2割減りました。大幅な焼却ごみの減量に成功したことにより一つの清掃工場の運転を休止することになったとの事で、今後は同清掃工場の廃止も含め検討しているとのことでした。清掃工場の建替え費用は370億円、年間維持費が13億円節約されることになりました。

世帯あたりの手数料は一ヶ月平均500円くらいとのことですが、これには減免制度があり、紙おむつなどの利用世帯や生活保護世帯などには指定袋を一定枚数無料で配布しているとのことでした。

準備段階では、行政との意見交換会は200回以上、市民説明会は2700回おこなない、参加人数は13万人に及んだとの事です。また不適正排出・不法投棄対策の強化の一環として、大学生等のアルバイトで「ごみパトロール隊」を設置し指導体制を強化したことや、施行当初ごみステーション約3万5千箇所において職員が指導にあたったとのことで、自治体職員はかなりご努力されたようです。そのかいあって、ごみ有料化に対する市民の反対意見は10%に過ぎず、むしろ協力的であるとのことでした。

そこで質問の1点目として川口市としてもごみ有料化は大いに検討すべきと考えますが、方針はいかがでしょうか。

2点目として、マイバッグ持参をポイント制にしてポイントがたまると有料ゴミ袋に交換できるなど楽しみながら環境を守るという施策も検討できるかと思いましたがいかがでしょうか。